

平成23年9月6日

平成23年度教育研究公開シンポジウム 「東日本大震災と学校—学校運営や教育指導における工夫など—」 の開催について

国立教育政策研究所では、東日本大震災の被災地及び周辺地域において実際に行われ、また行われようとしている学校運営上の工夫や教育指導上の工夫等をテーマとした公開シンポジウムを開催することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 趣旨

東日本大震災の被災地及び周辺地域において様々な困難を克服しながら、実際に行われ、また行われようとしている学校運営上の工夫や教育指導上の工夫と、大規模災害を被った諸外国での教育分野の取組事例を紹介し、教育活動の懸命な取組とそれを支える関係者の思いについて国内外に情報発信するとともに、極めて困難な状況下での教育実践の中から今後の教育政策の在り方について示唆を得る機会とします。

2. 日時

平成23年11月24日（木） 13：30～17：40

3. 会場

文部科学省講堂

（千代田区霞が関3-2-2 中央合同庁舎第7号館 東館3階）

4. プログラム等

添付資料のとおり。

5. その他

当日取材を御希望の際は、以下の連絡先へ事前に御連絡くださるよう、お願いいたします。

（お問合せ）

国立教育政策研究所 企画普及室長 大和 淳

電話：03-6733-6912（直通）

〔広報担当〕企画普及室 室長補佐 岩城由紀子

電話：03-6733-6812（直通）

東日本大震災で被災された全ての方に、心からお見舞い申し上げます。

平成23年度教育研究公開シンポジウム

東日本大震災と学校

—学校運営や教育指導における工夫など—

東日本大震災の被災地及び周辺地域では学校も甚大な被害を受け、一日も早い復興に向けて懸命な取組が行われているところです。

こうした地域において、様々な困難を克服しながら、実際に行われ、また行われようとしている学校運営上の工夫や教育指導上の工夫と、大規模災害を被った諸外国での教育分野の取組事例を紹介いただき、教育活動の懸命な取組とそれを支える関係者の思いについて国内外に情報発信するとともに、極めて困難な状況下での教育実践の中から今後の教育政策の在り方について示唆を得る機会とします。

- ・日時：平成23年11月24日（木）13：30～17：40
- ・場所：文部科学省講堂（3階）（同時通訳あり（英・中・韓））
- ・後援：外務省、財団法人教育研究振興会、全国教育研究所連盟
- ・10月初旬にHP上で告知予定（<http://www.nier.go.jp/>）

【プログラム】

- 13:30～13:40 主催者挨拶 徳永保（国立教育政策研究所長）
- 13:40～14:05 来賓挨拶
・唐虔（ユネスコ事務局長補（教育担当））
・袁振国（中国中央教育科学研究所長）
・金泰完（韓国教育開発院長）
- 14:10～15:30 講演1 東日本大震災の被災地の学校等での取組の発表
・井上剛（宮城県山元町立中浜小学校長）
・田村良江（福島県福島市立佐原小学校長）
・中屋定基（前岩手県宮古市教育長）
・鈴木吉重（福島県立郡山高等学校長（前福島県立浪江高等学校長））
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～16:25 講演2 大規模災害を被った諸外国の学校等での取組の発表
・田熊美保（OECD教育局教育訓練政策課シニアアナリスト）
・何紹勇（中国四川省教育庁副庁長）
- 16:25～16:30 休憩
- 16:30～17:40 パネルディスカッション

（この後、会費制によるレセプションを予定しております。）